

現地ルポ

おかず代から
青色申告まで

〈菊池市南古閑の婦人グループ活動〉

おかず代十円也

農村の食生活はとかく副食に弱いものだ。そこで、栄養改善は一番におかずの工夫から、という目標をグループ活動の課題としてとり上げた。

これによつて栄養的にもバランスのとれた美味しい食事をと、月一回のおかず研究会では、普及員の水上さんと呼んで腕にヨリをかけての猛勉強。

ご用の時は黒板に

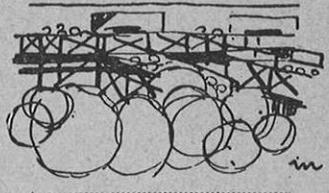
この頃からグループ員の間で家計簿をつけようという意見が強く出てきた。

グループの研究で、家計簿の形式をいろいろと検討したが、結局は費用別に記帳し、収支決算を出す方法を採

税務署員もビツクリ

この頃では家計簿の記帳もすっかり板について、各農家の予算生活も着々実行に移されてきた。

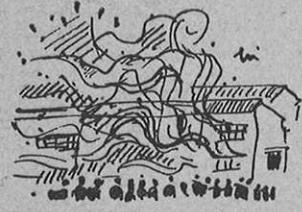
グループではこのほか昨年からの生活改善貯金をはじめたり、講師を呼んで話を聞く会を開いたり、親子ピクニックに出かけた。



自動選果機

「熊本みかん」は、東京、大阪、北九州方面へどしどし出荷されているが品質は優秀だが

で全国で三番目の大型自動選果機を総工費二千六百余万円で設置した。



学校火災

毎年十二月から一月、二月、三月は学校火災が多い季節。特に十二月には昨年中に全国で五十四校も火災で焼けており、一年中で最も多い。



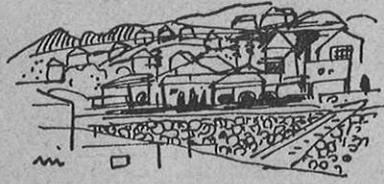
交差点

このような宅地の乱造を規制する狙いで、さきの臨時国会で成立したのがこの「宅地造成等規制法」

最近の住宅難を反映して、都市では宅地ブーム。その波にのつてお粗末な急造宅地が増え、今年六月の近畿、中部などの集中豪雨では、各地でがけくずれや土砂の流失、家屋の倒壊などの宅地災害が起つてい

造成工事は知事の「許可」がいうこととなつた。またその区域内での造成工事は、擁壁や排水施設など災害防止に必要な措置をとらねばならぬし、工事完了しだい知事の「検査」を受けなければならないなどいろいろな規制がある。(建築課)

宅地造成等規成法



尾田さん

昔から、天草は三段百姓、御所浦は一段百姓とよく云われてきた。私は青年時代若きまかせて北九州に働きの場を求めてこの貧しい島を飛び出していった。そこで感じたことは、島民の生活と北九州の人々の生活とが見るもの聞くもの、あまりにもかけはなれていることだつた。

やり甲斐のある仕事

一島の衛生主任のメモから

尾田 武

私は北九州の生活体験から、この島で大切なことは公衆衛生だと直感した。昭和24年に希望して、公衆衛生の仕事に変わってもらつた。特に力

村造りの目標を「健康と産業の増進」におかれていた。このことが、私達をより力強くした。幻灯機や、教材をもつて島めぐりをする衛生教育にも自然熱が入る。人々にはシゲキが必要だと、保健所や県から講師をまねき、各地で会合

歳末たすけあい運動



また、いま一つの特徴は、たすけあい活動を小地域だけにとどめるだけではなく、災害地や沖繩などまでも関心をひろげ、義捐金を送ろうということである。(社会福祉協議会)